

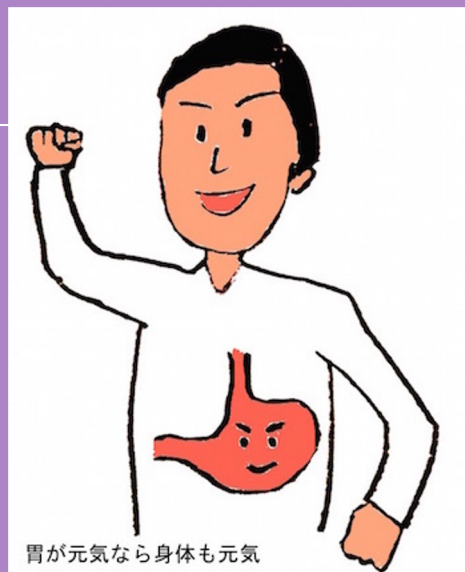
「仲景杯」全国学生漢方選手権大会

発表：順天堂大学東洋医学研究会

中医学の弁証論治に基づいて発表する

チーム名「杏仁！麻子仁！俺ら”仁”！」は順天堂の学是「仁」に由来します。

医学部 4 年 津村佳生
吉田大悟
高木政志
關谷憲侑
小池真子
2 年 常松慶輔



1. 四診
2. 西洋医学的見地から
3. 弁証
4. 方剤、生活指導
5. まとめ
6. 参考文献

1. 四診

2. 西洋医学的見地から

3. 弁証

4. 方劑、生活指導

5. まとめ

6. 参考文献

1. 四診

望診

やややせ型（身長：152.0cm 体重：42.2kg）、顔色普通、皮膚所見異常なし

舌診：淡紅、薄い白苔、歯圧痕、下肢浮腫あり

聞診 ー

問診

- ・ 幼少期から特に食がある方ではなく、成人後、食欲低下、胃もたれが徐々に悪化。
- ・ 数年前から食欲低下、食べるとおなかが張って多く食べれない、おなかが空くまで時間がかかり3-4年前からは1日2食のことも。おなかが張ってもたれると「くらくら」しためまいと動悸。多く食べると心窩部に強い膨満感で苦しく気分が暗くなる。噯気とともに吐くと楽になるが食欲はでない。
- ・ H. pylori感染歴あり、除菌
- ・ 十全大補湯服用後も改善しない。
- ・ 数年間で体重が3-4kg低下。悪心、胸やけ、咽喉違和感、下痢なし。閉経。便通は1日に1回で普通便。喫煙なし、飲酒は月1~3回程度（ワイン1回1~3杯程度）

切診

脈診：やや弱、滑 脈の乱れなし

腹診：腹力やや弱、心下痞硬、心窩部振水音、やや臍上悸

1. 四診
2. 西洋医学的見地から
3. 弁証
4. 方劑、生活指導
5. まとめ
6. 参考文献

2. 西洋医学的見地から①

[病態分析]

- #1 食欲不振・胃もたれ
- #2 pitting edema (+)
- #3 高血圧
→ 下肢浮腫
- #4 数年間の3-4kg体重減少
- #5 十全大補湯服用後の心窩部鈍痛
- #6 食後のめまい・動悸
←一過性脳虚血←食後低血圧

2. 西洋医学的所見から②

[鑑別診断]

更年期障害

(一般的には45-55歳で症状が出る)

循環器疾患

虚血性心疾患：狭心症

腹腔動脈狭窄（動脈硬化、薬剤誘発性）

薬剤誘発性高血圧（甘草のグリチルリチン酸）

代謝性疾患

アルドステロン症

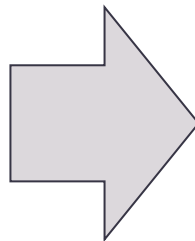
糖尿病

消化器疾患

H. pylori 萎縮性胃炎の後遺症

薬剤性障害

胃腸障害：川芎・地黄・当帰による



[必要な検査項目]

心電図

超音波検査

家庭血圧の測定

内分泌検査

アルドステロン

レニン

プロゲステロン

エストロゲン

LH、FSH

1. 四診
2. 西洋医学的見地から
3. 弁証
4. 方劑、生活指導
5. まとめ
6. 参考文献

3. 弁証

八綱弁証：裏虚(寒熱平)

病因弁証

六淫：内湿

七情：一

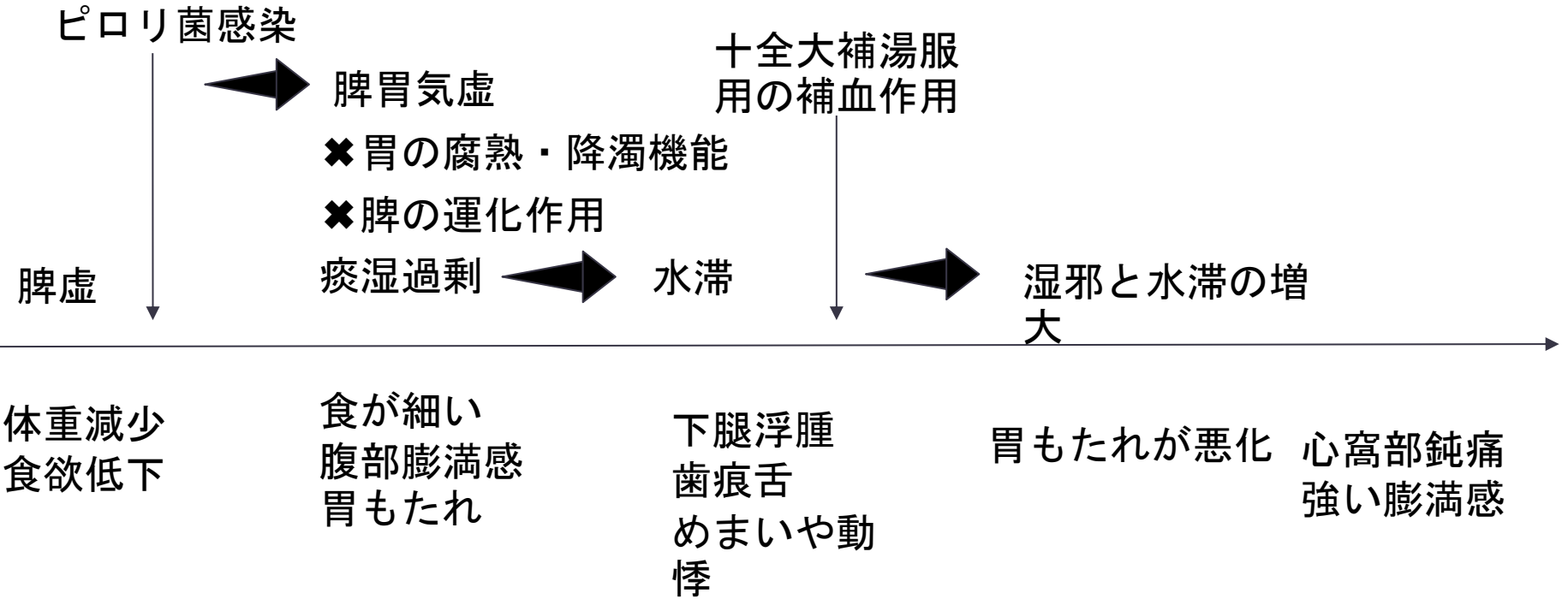
病理産物：痰飲(飲食物停滯による)

気血津液弁証：気血両虚、気滯、津液停滯

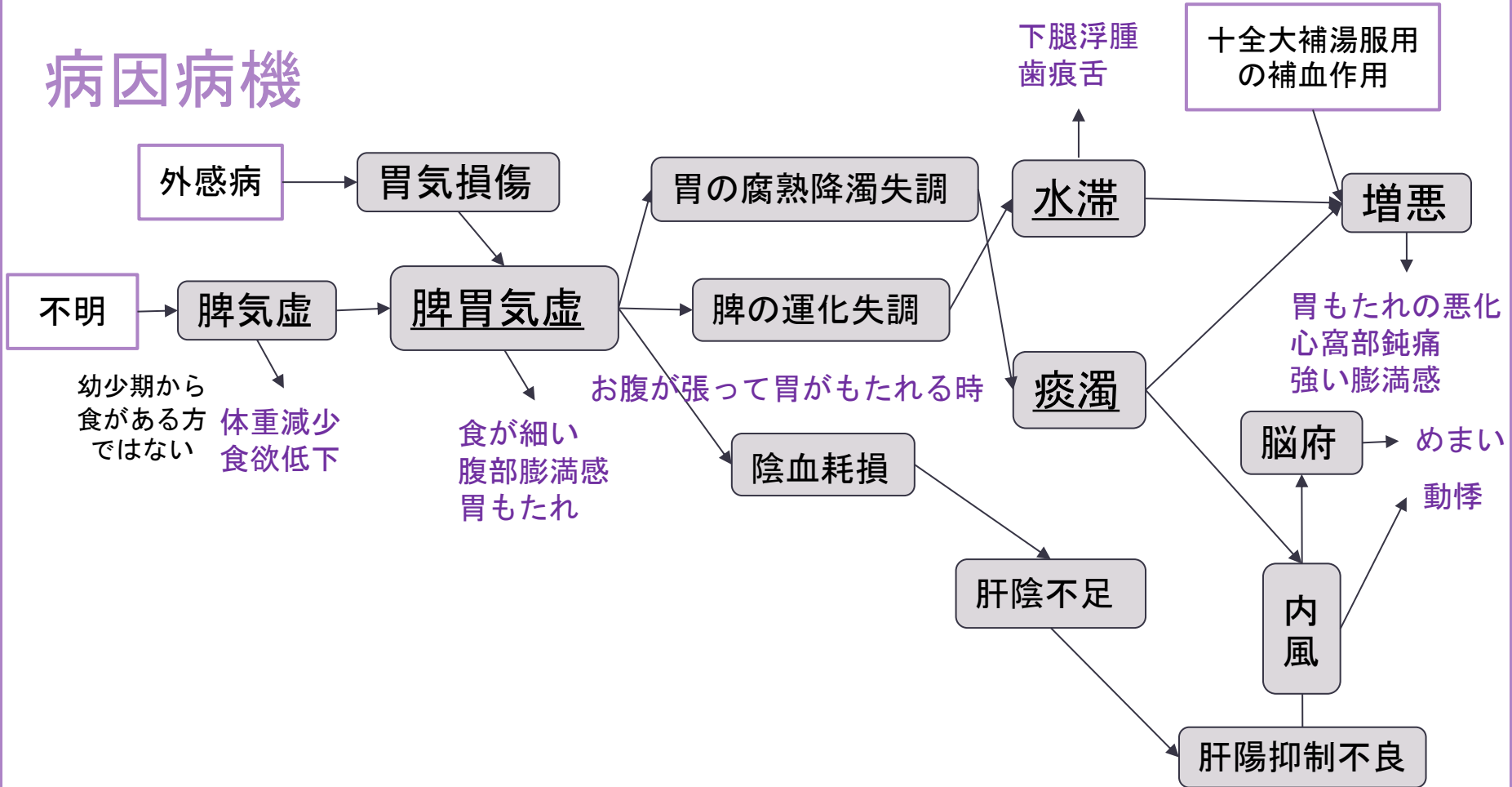
臓腑弁証：脾・胃気虚、食滯胃脘(脾虚挾食)

治法：消食導滯、利水燥湿、健脾補気

時系列



病因病機



十全大補湯服用による悪化の理由

- ・十全大補湯は強力な補益剤である。
- ・補益法を用いる前には必ず脾胃の機能を調製する必要がある。
(脾胃の運化機能が失調しているままでは吸収ができない)
- ・十全大補湯は養血の生薬を含む。これは粘っこく吸収が難しいため、脾胃に食滞がある本症例では湿の病証を悪化させることになる。

十全大補湯服用後も改善しない。十全大補湯服用2週間後、胃もたれが悪化、食後服用に変更になるが心窩部の張り鈍痛を繰り返す。

1. 四診
2. 西洋医学的見地から
3. 弁証
4. 方劑、生活指導
5. まとめ
6. 参考文献

4. 方剤、生活指導

・ 茯苓飲

1日7.5gを3回(1回ツムラ2.5g 1包)に分割し、食前又は食間に経口投与する。1日2食の場合は2回分割。

・ 食べすぎ注意、消化のいいものを食べる、水も飲みすぎであれば控える、運動をする(四肢運動は脾胃の運動と連動する)

治法：消食導滯、利水燥湿、健脾補気

茯苓飲について

構成生薬

- ・ 人参
- ・ 生姜
- ・ 蒼朮
- ・ 茯苓

四君子湯－甘草

①脾胃を益し、健運・中和の効能を具える
→脾気虚

②蒼朮・茯苓は利水・燥湿
→食滞胃脘による痰飲

- ・ 枳実
- ・ 橘皮

理気

→胃の消化、脾の吸収促進

処方薬候補

六君子湯

人参

白朮

茯苓大棗

甘草

生姜

大棗

四君子湯
構成生薬

半夏

陳皮

胃内の湿
を乾かす

→ メイン脾気虚 + 痰飲

平胃散

蒼朮

厚朴

陳皮

甘草

生姜

大棗

→ 下痢がある消化不良
理気作用が強い
補気作用は少ない

1. 四診
2. 西洋医学的見地から
3. 弁証
4. 方劑、生活指導
5. **まとめ**
6. 参考文献

5. まとめ

- ・本症例は小児期からの脾虚が悪化し脾胃気虚に至ったものである。
- ・脾：運化失調、胃：腐熟・降濁失調により胃内に食滞が起こりこれが痰飲となつて、食欲不振・胃内停水・心下痞硬などを引き起こしている。
- ・八綱弁証は裏平虚証、気血津液弁証では気血両虚・津液停滞・気滞である。臓腑弁証は脾胃気虚、脾虚挾食(食滞胃脘)である。
- ・ただし脾胃気虚よりも脾虚挾食(食滞胃脘)が主症状と合致する。
- ・まず胃内の痰飲(食滞)を除き飲食物の受入を可能にしたい。...①
さらにこれを吸収できるよう健脾を行いたい。...②
従つて治法は①消食導滯、利水燥湿、②健脾補気、かつ①>②の優先度
- ・従つて処方茯苓飲を選択する。

1. 四診
2. 西洋医学的見地から
3. 弁証
4. 方劑、生活指導
5. まとめ
6. 参考文献

6. 参考文献

- 呉澤森, 高橋楊子, 『「証」の診方・治し方—実例によるトレーニングと解説—』、東洋学術出版社, 2012
- 神戸中医学研究会, 『中医学入門』, 東洋学術出版社, 2015
- 神戸中医学研究会, 『中医臨床のための中薬学』, 東洋学術出版社, 2020
- 神戸中医学研究会, 『中医臨床のための方剤学』, 東洋学術出版社, 2021
- 神戸中医学研究会, 『中医臨床のための方剤学』, 東洋学術出版社, 2021
- 高山宏世, 『漢方常用処方解説』, 東洋学術出版社, 2021
- 長瀬眞彦, 『東洋医学診療に自信がつく本』, カイ書林, 2022
- 安井廣迪, 『医学生のための漢方医学』, 東洋学術出版社, 2021

食養生としてのおすすめ薬膳レシピ♪

おまけ

大根粥

[材料] 米80g、大根5cm、豚ひき肉60g、陳皮5g、ねぎ3cm、生姜薄切り3枚、紹興酒大さじ1杯、醤油小さじ2、サラダ油

〈効能〉 行気健脾

大根は辛・甘・涼。脾胃の気機の巡りをよくする。火をよく通すと涼性が緩和される。

